

学校名	広島市立己斐中学校	校長氏名	藤岡 博幸	生徒指導主事氏名	上田 岳
-----	-----------	------	-------	----------	------

取組事例名	『野外活動（1年生）』
-------	-------------

取組のねらい	『キーワード 集団・自然との関わり』
--------	--------------------

- ・野外活動での関わり合いのある体験を通して、生徒相互の友情や信頼感を育てるとともに、集団意識を高め、探求活動に主体的・創造的に取り組む力を育てる。
- ・野外での生活を通して、自然とふれあい、自然の恵みや自然との関わりを学び、主体的な行動力や自主性を養う。

取組の具体的内容	『キーワード ルール・責任・協力』
----------	-------------------

【カッター研修】



【野外炊飯】



【キャンプファイヤー】



- ・他に、カプラ研修やウォークラリー、学級レクなど、集団での活動を通して生徒の主体性や自治を育む取組を実施している。

取組の課題・創意工夫	『キーワード 生徒主体の活動』
------------	-----------------

【課題】

- ・取組の日程調整等、もう少しゆとりがあればなお良かった。

【創意工夫】

- ・事前の取組から、代議員を中心とした生徒主体の活動を行うとともに、係活動や仕事分担を明確にすることで、全員が責任を果たせるような活動になるように心がけた。
- ・代議員や係活動の代表からの意見やメッセージ、事前事後の取組等を学年通信を活用して、学年全体で共有できるようにした。また、学年通信を通じて保護者にも取組の様子等が伝わるようにした。

【結団式の様子】



【解団式の様子（表彰）】



【代議員から】～事前の決意・意気込み～（学年通信掲載）

私は、野外活動という3日間がとても大変で忙しい日々になると思いますが、それ以上に自分、一人一人の成長を感じることでできる3日間にできたらなと思います。そして、野外活動という行事を機会に、新しい仲間との交流を深め、いつも以上にお互いを知り、また、みんなとの協力・団結を通して、前の自分と向き合って新しい自分を見つけることでできる3日間にもしていきたいです。だから私は自分もみんなも、いつか野外活動を思い出した時に”成長したな”と思えるように、自分のできることは自分から進んでやり、困っている人にはアドバイスをし、自分の役割を最後までやりとげます。

取組の成果（効果） 『キーワード プラスの声かけ・前向きな姿勢』

- ・代議員や班長を中心にして、授業等でもよい声かけができるようになった。
- ・普段の学校生活でも、ルールを守ることや仲間と協力することの大切さを意識して生活していると感じられることが多くなった。

【生徒感想文】～野外活動を終えて～

野外活動で学んだ協力を、これからの生活に生かしていきたいと思いました。野外活動が終わったから終わるのでなく、それを生かしていくことが必要だと思います。自分のことだけではなく、周りの人のことも考えられるようになっていこうと思いました。学校生活でも時間を守ることが大切だし、普段の生活でもルールを守っていくことが大切だと思います。自分が次に何をするのかを考えて行動し、友達と協力していくことが大切だと思います。班行動などの時には一緒にやることが必要だと思います。友達とやれば最後まで出来ると思うからです。責任では、自分に与えられた仕事を最後までやることが責任を果たすことになると思うので、あきらめず最後までやってみようという心を持つとうと思いました。カプラ研修の時には、みんなで一つのものを作ろうと思う気持ちが感じられました。失敗しても「がんばろう」と思ってみんなとやっていけば何でも出来るんだなと思いました。

今後の展開 『キーワード 伝統の継承』

- ・生徒自身が自ら考え、判断し、行動できるような、生徒の主体的な取り組みを推進する。
- ・教職員の共通理解を深め、保護者や地域との連携を図り、ルールの徹底や仲間との協力・団結を普段の学校生活や行事でも活用できるような指導を心がける。

他校へのアドバイス 『キーワード 継続』

- ・野外活動のみの指導に留まらず、普段の学校生活と関連して事前の指導及び、事後の継続指導をすることが生徒指導の充実に有効な手立てであると思います。